

【平成 24 年度】

第 3 回学生チャレンジ企画書（再提出版）

企画名称	官学連携による地域犯罪改善のための環境犯罪学的提言		
団体の名称	守山ゼミ・渡邊ゼミ連合		
団体の プロフィール	犯罪学研究グループ		
奨励金	250,000 円	実施期間	7 月 1 日～11 月 30 日
企画概要	<p>本企画は、共通して犯罪学を専攻する守山ゼミと渡邊ゼミの有志で結成した連合チームを結成して、東京都、都内の各自治体、警視庁などの公的機関との官学連携により、大学で学んだ環境犯罪学を利用し、地域社会が抱える路上犯罪問題に適用して、各自治体に犯罪問題改善策を提言し、地域の個別問題解決政策にフィードバックすることを目的とする。すなわち、地域社会に犯罪不安を与えている街頭犯罪の解決策を現場調査データに基づいて提言し、地域社会の安全・安心に寄与する。具体的には、ひったくりなどの街頭犯罪につき、都内で多発している特定地点（ホットスポット）を選定し、その地点でのフィールド調査を実施する。そして、調査データを分析して、その研究成果を東京都治安対策本部が主催する「安全・安心まちづくり担当課長会議」において、都内の全自治体関係者に対してプレゼンテーションを行い、その後、個別に各自治体と協議のうえ、犯罪予防策を提言し、地域の犯罪対策に反映させることによって、研究成果が地域問題解決に具体的に貢献することをめざす。さらには、この研究成果は東京都の HP に掲載され、出版物（冊子）として配布される予定である。</p>		

採用後の企画の変更点

(選考の際に指摘された点を盛り込みながら変更点を記入してください)

- ・具体的な調査地点は、板橋区と台東区に決定した。
- ・各自治体だけでなく、地域社会の住民とも犯罪問題解決のための協議を行う
- ・調査対象犯罪として、データが整備されている「ひったくり」のみした。

具体的実施計画内容（スケジュールと合わせて時系列で記入してください）

（最後に計画終了予定日を記入してください）

7月10日 板橋区役所で打ち合わせ

7月17日 台東区役所で打ち合わせ

7月30日～8月2日

期間中毎日、6名が板橋区役所の青パトに同乗し板橋区内の治安状況を観察する（計30名参加）

板橋区役所防災危機課の担当者にヒアリングを行う。

8月7日

東京都治安対策本部担当者と同行して、5名が台東区役所に対するヒアリングを行う。

8月～9月

3班に分かれ、板橋区内2ヶ所、台東区内1ヶ所でひたたくり調査を実施する。板橋警察署、高島平警察署、浅草警察署の警察官が現場で協力する。

9月17日～19日

ゼミ合宿において、現場調査を分析し、研究成果をまとめる。

10月中旬

東京都青少年治安対策本部において、都内の区、市、町の治安対策担当者が出席する「安全安心まちづくり」担当者会議で、プレゼンテーション・研究発表を行う。

11月末

東京都HPに活動内容を掲載され、研究成果の冊子を作成

予算計画（具体的に記入してください）

奨励金

250,000円

【内訳】

<交通費>

- ・茗荷谷－浅草間往復 地下鉄利用
460円×2（往復）×1回×41人=37,720円
- ・茗荷谷－都庁間往復 地下鉄・JR利用
290円×2（往復）×1回×41人=23,780円
- ・茗荷谷－高島平往復 地下鉄利用
350円×2（往復）×1回×18人=12,600円
- ・茗荷谷－板橋区役所前 地下鉄利用
460円×2（往復）×1回×23人=21,160円
- ・高尾－浅草間往復 JR・地下鉄利用
1050円×2×2回×6人=25,200円
- ・高尾－都庁間往復 JR・地下鉄利用
710円×2×1回×6人=8,520円

<現地調査用品>

- ・通行量カウンター 1,000円×8台=8,000円
- ・デジタル照度計 7,480円×3台=22,440円
- ・デジタル住宅地図
ゼンリン台東区・板橋区 20,000×2冊= 40,000円
- ・デジタル計測メジャー 7,200円×3台=21,600円

<その他>

- ・ボランティア保険 300円×47人= 14,100円
- ・事務用品一式 14,880円